

自然の力を侮らず、備えることを大切に

仲嶺 真弓

6/18 大阪北部地震が発生。いつものように出勤しようとかばんを手に立ち上がりかけた瞬間に揺れを感じました。私は2階にいたので衣類棚がガタガタと揺れていました。数秒後、家族に混乱がないと判断したと同時に、頭の中は保育園のことでいっぱいになり、状況確認をするために園に電話をかけたけれど繋がらず…。混乱を予想して大急ぎで家を出ました。出勤してみるといつも通りの朝の風景で、園児・保護者・職員にも大きな混乱はないように見受けられました。その後、園舎に破損はないか一回りして確認。破損なく、一安心しました。その日しばらくはテレビをつけ、外部の情報に耳に傾け余震に備えました。

今回の地震は本当に何事もなかったからよかったのですが、日が経つごとに職員の中では地震当日の自分たちの行動を振り返り考えていました。地震発生時の自分の行動はどうだったか、地震直後の行動は？ その日1日の行動は？ 後日の行動は？ 振り返れば、それぞれもっとできたこともある。6月の職員会議では、6/18の動きを検証し、今後につなげるための話をしました。

パパ懇談会も予定して下さっていたお父さんには申し訳なく、職員も楽しみにしていたのですが、若い世代の保護者や職員は初めての体験で（40・50歳代は阪神淡路大震災の揺れを経験していたのであの時の揺れと比べれば精神的ダメージは大丈夫でした）、数日しても夜は特に怖くて眠れないという職員や保護者、保護者の中には職場が大変なことになっている現状を聞き、延期という苦渋の判断をしました。地震から1週間以上が経ち気象庁からも地震の発生が減少しているというコメントをニュースで聞いたので、代替の日程を決めました。ぜひ来てください。

【 自然災害時についてのお願い（地震） 】

地震など、自然災害はいつどのように起きるか予想が付きません。先日、大阪北部を震源とする地震が発生し、アトム共同福祉会では、園児の安全を優先的に考え、園として再度、下記のことを保護者の方にお願ひします。ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

- ① 登園前に大規模な地震が発生した場合、余震の心配がありますので、可能なご家庭はできるだけ家庭での保育をお願いします。
※職員も出勤できないという事態も想定されます。その場合、いつもより少ない職員で余震を心配しながら子ども達を保育することになります。保育園がそういう状況になる事と、子ども達の安心の為にも家庭保育が可能な場合は、ご協力をお願ひいたします。
- ② 今回の地震ではeメッセージを利用し、園からのメッセージを配信しました。一方通行ではありますがメッセージを受信し安心された方も多いと思います。まだ、登録されていない方は、登録をして下さい。
- ③ タッチパネルと各クラスのネームプレートは緊急時、子どもの所在確認をする際に必要です。毎日忘れずに操作してください。
- ④ 地震時、交通機関等の関係で、帰宅困難になる恐れのある方については、必ずお迎えに来られる方を家族間で話し合い、決めておいて下さい。

※今回の地震では、電話回線がパンクし、お休みの連絡がなかなか繋がらない時間帯があり、ご心配をおかけしました。そのことを踏まえ、なにか手立てはないか検討しています。決まり次第お知らせしたいと思います。